

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和6年3月25日発行

No.13

一年を終えるにあたって

学校長 萬谷 隆一

令和5年度のしめくりを迎え、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御協力・御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2020年春から続いていたコロナ感染症も2023年5月8日に5類へと移行し、本年度はまさしくコロナ明けの一年となりました。この一年間は、元の日常生活が足早に戻ってきました。お子様たちは、学校生活での制約も少なくなり、以前の活動や行事が活発になりました。たとえば給食での黙食もなくなり、楽しい食事場面が戻りました（黙って食べるのは結構辛いものでしたね）。また合唱祭でも、大きな声を出せるようになり、表情豊かな歌声が響くようになってきました。卒業式では1年生、2年生が、別れ行く3年生への気持ちを込めて歌声を響かせていました。



またコロナ明けで、これまでの3年間に比べて、格段に学級内、学級間、学年間での交流が活発になってきました。藤華祭では、学年を越えたチームでプロジェクトに取り組み、協力して企画を成し遂げていました。また、D組の生徒が水曜日にABC組と給食交流をして、班ごとに食事や休み時間を一緒に楽しむ姿も印象的でした。卒業式など全学年が集うことができたのも、大きな意味がありました。他学年との交流によって、後進を導く責任感を感じたり、あるいは先輩の姿から刺激を受け、明日のわが身に思いを致したりする機会となったのではないかと思います。

このように、長く、暗い3年間を耐えて迎えたコロナ明けの一年は、何げない日常、しかし大切なものが戻ってきた、明るい一年となりました。お子様たちは、4月になれば、それぞれ学年が上がり、2年生、3年生となります。それぞれに一つ上のステージに成長していてもらいたいと思っています。そのために、コロナ明けのこの1年にも増した、活気に満ちた1年間にしてほしいと心から願っています。

私たち教職員は、お子様たちの成長を願い、日々努力を積み重ねたいと念じております。保護者の方々には、これまでの大変な1年における御協力・御支援に心から感謝し、さらに来年度においても、お子様の成長と学習を見守り促すために、御支援・御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■離任する教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。離任する教職員からの言葉を紙面にて紹介させていただきます。

津田 安彦 特命教頭	(特別支援・3年)	退任
鈴木 真之介 教諭	(国語科・8年)	札幌市立真栄中学校へ
山田 浩之 教諭	(理科・6年)	札幌市立上野幌中学校へ
成田 芳 教諭	(社会科・5年)	札幌市教育委員会へ
太田 樹 教諭	(保健体育科・2年)	千歳市立勇舞中学校へ
神 海成 教諭	(保健体育科・1年)	退任
佐藤 公一 講師	(国語科・1年)	退任
武田 真祈 講師	(特別支援・3年)	市立札幌清田高等学校へ
益子 洋人 先生	(スクールカウンセラー・9年)	北海商科大学商学部商学科へ
今井 りな さん	(心の相談員・1年)	退任

津田 安彦 特命教頭

附属札幌中学校の一人一人の生徒は、附属札幌中学校という『大きな木の一枚の葉』として存在しています。そんな意味では、これからも附属札幌中学校で学ぶ生徒一人一人が、自分は『どんな一葉なのか』を考えて、附属札幌中学校という組織の中で生きる道を求め続けてほしいと願っています。

私は、附属札幌中学校という『大きな木の一枚の葉』として多くの出会いがあり、その中から多くの宝物を得ました。これからは枯れて散った一枚の葉として、大きく育ち続ける『附属札幌中学校という大樹』を静かに見守っていきます。

三年間、附属札幌中学校・特命教頭としてお世話になりました。ありがとうございました

鈴木 真之介 教諭

八年間、この「學園」で生徒とともに学ばせていただきました。授業だけではなく、委員会活動や学校行事の準備、何気ない休み時間などの一瞬一瞬を思い返しなが、その全てが大切な財産になったと感じています。本校で学びたいという強い意志をもつ生徒、そして生徒を御家庭で支える保護者の皆様がいてこそ、他のどのような経験にも代えがたいものが手に入ったように思います。

本校では、平成15年度に「共創の学校」の理念が制定されました。生徒同士が自らの学びを創り上げていくこと、教員や保護者、地域社会が一体となって学び合い、相互に機能する場となること。この崇高な理念をこれからも大切に、磨きをかけ、より一層発展していくことを願っております。ありがとうございました。

山田 浩之 教諭

六年間という長きにわたり、有形無形様々な形で今まで支えていただき、誠にありがとうございました。思えば本校に赴任してから、第1子が誕生したときも、そして昨年度の椎間板の手術の時も生徒からだけでなく保護者の方々からも温かい励ましの言葉をかけていただくなど、皆様の支えがあったからこそ何とか今日の日を迎えることができたのだと認識しております。教師生活の中で最も濃密で価値のある六年間だったと感じているところです。

授業では、生徒と一緒につくる理科探究の姿を大切に、ここまで授業をしてきたつもりです。今年度は機会があり、1年A組から3年C組まで全ての学級と授業ができたのも幸せでした。1年生と2年生の生徒の皆さん、卒業まで一緒に授業ができなくてごめんなさい。皆さん方なら来年もきっと素敵な授業をつくってくれると信じています。これからの在校生の皆さんの活躍を心から応援しています。

成田 芳 教諭

附属札幌中学校では五年間お世話になりました。赴任した最初の年の冬に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、当たり前の日常が変化してしまいました。そのような中でも生徒の皆さんと共に学びや学校行事について考え続けた五年間は、私の人生にとっても大きなものとなりました。形式が変わっても、根底にある想いが変わらないまま来られたことは、生徒の皆さんをはじめ、保護者の方々の御理解や御協力あってのことと思います。今後、新たな附属札幌中学校の歴史が刻まれていき、まもなく80周年を迎えます。益々、この附属札幌中学校が豊かな学び舎として発展していくことをお祈り申し上げます。

太田 樹 教諭

皆さんとともに過ごした二年間は、学びの連続でした。体育の授業の中で、純粋に体を動かすことに没頭し続ける姿を見て、どうしたら皆さんがより「楽しい」と思える授業になるかをよく考えさせられました。このような姿の根底には、保護者の皆様の献身的なサポートがあるからこそだと感じています。教員1年目から附属札幌中学校で勤務できたことは、私にとって大きな財産となりました。このような日々を過ごせたこと、感謝申し上げます。私は4月から別の学校での勤務となりますが、保護者の方々と生徒の皆さんのますますの御飛躍を心から願っております。2年間、大変お世話になりました。

神 海成 教諭

一年間という短い間でしたが、この附属札幌中学校で勤務した期間は私を成長させてくれました。前向きで一生涯懸命に学校生活や学校行事に取り組む子どもたちの姿に励まされ、元気をもらっていました。私が担当させていただいた体育の時間でも諦めずに努力し続け、どうしたらもっと上手にできるかなどを真剣に考える姿は尊敬に値するものでした。

このように、生徒が安心して学校で学びあうことができるのは保護者の皆様の支えがあるからだと感じております。保護者の皆様には校外学習や総合交流会、部活動などで御尽力いただき、心から感謝申し上げます。皆様の支えもあり、こうして附属中学校での生活を全うすることができました。これからは新天地で頑張ります。附属札幌中学校と生徒・保護者・職員の皆様の御健康と御発展を心よりお祈りしております。



佐藤 公一 講師

残暑のまだきびしい8月から附属札幌中学校に勤務させていただきました。主に1,2年生の国語科と書写の授業を担当させていただきました。生徒の皆さんは向学心をもち、少しでも自分を向上させようと常に努力を続けておりました。国語科の授業も大変進めやすく、2年生は受け答えも意欲的で質の高い学習ができたものと感

じております。1年生の皆さんは書写の授業の要点を理解し作品に見事に描いていました。よき伝統を受け継ぎ、新たな学年での活躍をお祈りしております。短い期間ではありましたがたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

武田 真祈 講師

この度、附属札幌中学校、ふじのめ学級での勤務を終えさせて頂くこととなりました。ふじのめ学級には、三年間在籍をさせて頂きました。交流給食や、学校行事の際、また、私の場合は大学院での教育実習の際も含め、ABC組の生徒の皆さんと関わらせて頂く機会もあり、本当に感謝な三年間であったと感じています。

4月からは、市立札幌清田高等学校にて、英語教諭として勤務をさせて頂く予定です。この附属中学校で経験させて頂いたこと、生徒の皆さんお一人お一人から学ばせて頂いたことを活かして、置かれた場所で尽力して参ります。貴重な期間を皆さんと共に過ごすことができたこと、大変嬉しく思います。今まで本当にありがとうございました。

益子 洋人 先生

気がつけば、3サイクル(9年)にも渡る長い間、附属中に籍をおかせていただきました。長らくお世話になったおかげで、変わっていくもの(生徒さんや保護者さんたち、先生方のお顔ぶれ)の中にも、変わらないスピリッツ(自分の人生に一生懸命取り組む生徒さんたちの姿と、それを応援する大人の姿)があることを、真に目の当たりにすることができました。それは、わたくしにとって、たいへん貴重な、心の震える学びとなりました。

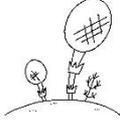
勤務場所は変わりますが、わたくしは引き続き教員養成に取り組むこととなります。札幌市内におりますので、またどこかでお会いする機会もあるかもしれません。その際はどうぞよろしくお願いいたします。

今までお世話になり、どうもありがとうございました。

今井 りな さん

心の相談員の今井りなです。一年間、相談室の生徒の皆さんと様々な交流を通して得られた学びが非常に多く、私にとって貴重な経験となりました。私が中学生の時は、集団で行動することの多い学校という場所で、ありのまま自分らしく過ごすことに苦手意識を感じていました。附属中学校では多くの生徒さんと関わる機会が少なかったですが、相談室の中では生徒の皆さんが「ありのまま自分らしい」気持ちでいられるように心掛けていました。自分の存在が、少しでも生徒の皆さんの成長を支えられていたのなら幸いです。離任後は社会福祉法人に入職し、子どもたちの成長を心身ともに支えたいと思います。今までありがとうございました。

< 新年度当初の予定 >

5日(金) 新任式・始業式	19日(金) 委員会・専門局会
8日(月) 第79回入学式	22日(月) 教育相談①
10日(水) 委員・専門局員選出 研究日	23日(火) 合同体位測定
11日(木) 授業参観、学年・学級PTA懇談会(全学年)	24日(水) 委員会・専門局会 研究日
12日(金) 3年学力テスト	25日(木) 教育相談③
15日(月) 職員会議(5時間日課) 学級写真撮影	27日(土) 午前:部活動結成集会(希望者のみ参加) 午後:PTA・ふじづる総会、PTA学年委員会、 PTA常務委員会、PTA役員会
16日(火) 幹旋教材販売日(朝) 全国学力・学習状況調査質問紙調査(3年)	30日(火) 委員会・専門局会
17日(水) 研究日	※ <u>新年度の予定は変更する</u> <u>可能性がございます。</u>
18日(火) 全国学力・学習状況調査(3年) 1年PTA・学級PTA懇談会	

< 4月5日(金)の予定 >

新年度は4月5日(月)から始まります。登校したら、1・2年時の教室で待機してください。

当日は、上靴を忘れないように気を付けてください。また、新しい教科書が配付されますので、それらを持ち帰ることができるカバン等の準備を忘れずにお願いします。

	新2年生	新3年生
8:35~ 8:45	朝学活	
8:50~ 9:20	清掃・片付け	
9:25~10:40	体育館移動、歌唱練習、新任式、始業式	
10:50~11:05	旧学級学活	
11:25~12:15	新学級学活	
12:25~12:40	給食(簡易給食)	
12:40~13:00	片付け、昼休み	
13:00~13:50	学活	
13:50~14:00	下校 麻生(優)14:00 栄町(優)14:00	休憩時間
14:00~15:20		会場設営
15:20~15:30		下校 麻生(優)15:30 栄町(優)15:30

諸活動の結果・表彰

コンクールや大会の入賞・入選した皆さんの栄誉を讃え、ご紹介いたします。

学級	生徒氏名	大会・コンテスト・コンクール名	賞・順位
1B	加藤 暖翔	令和5年度札幌市お弁当レシंपコンテスト	ホクレン農業協同組合連合会会長賞
1C	野原 来		札幌市食生活改善推進員協議会会長賞
1B	高田 愛理	第69回札幌市児童生徒席書大会	秀作
1B	戸松 朝陽		秀作
2A	岩野 愛留		秀作
2A	奥村 文音		秀作
2A	熊谷 紗英		秀作
2A	渡邊 心瑚		秀作
3A	大塚 千秋		算数・数学の自由研究作品コンクール2023
3A	島田 実怜	敢闘賞	
3B	原井 絢叶	敢闘賞	
3B	原井 絢叶	第22回日本ジュニア数学オリンピック	地区表彰

令和5年度 学長表彰	菊田 涼太(1B)	三澤 玲良(1B)	齋藤 萌(1C)	伊藤 香一(2A)
	遠田和乃可(2A)	佐藤 朱華(2B)	辻谷 寛大(2B)	原井 絢叶(3B)

入賞・入選した皆さんおめでとうございます!

保護者の皆様へ

今年度は5月より、新型コロナウイルス感染症の5類移行によって感染拡大防止を目的とした活動の制限が除かれました。私たち教職員にとっても、単純に過去のあり方に戻すのではなく、その意義や教育的効果を改めて考えながらよりよい形を模索した一年間でした。

保護者の皆様におかれましては、今年度も様々な場面で本校の教育活動に御理解と御協力を賜るとともに、5類移行後の教育活動についても御支援いただきましたことを深く感謝申し上げます。新年度も、教職員一丸となって子どもたちの成長のために尽力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

